

ひおき

Vol.34

2008.2

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

- 資源ごみ収集、全市袋方式へ統一2
- 日置市消防出初式3
- 消防ひおき4
- 民生委員…児童委員を紹介します6
- 永吉郵便局で証明書等が受け取れます8
- 特定健診…特定保健指導が始まります9
- まちの話題10
- 市民の広場18



資源ごみ収集、全市袋方式に統一

本年4月から一斉実施

市ではこれまで資源ごみ収集方式についてコンテナ収集方式、袋収集方式のいずれかの方式への統一に向けて協議を重ねてきました。昨年二月からは、各地域の代表者二十人で構成する「ごみ分別検討委員会」においても検討していただき、「全市袋収集方式に統一することが望ましい」との最終意見をいただきました。委員会の最終意見も踏まえ、市では資源ごみの収集方式を全市袋収集方式に統一し、本年四月から実施することといたします。

袋収集方式に統一する理由は、次のとおりです。

- ① 容器包装プラの100%分別
分別品目の中で、特に容器包装プラスチック（その他プラ）の分別徹底が重要となります。袋収集の場合、リサイクルセンターで再選別を行い100%の状態になりますが、コンテナ収集の場合は再選別の必要はないとの前提で取り扱ってまいりました。しかし、これまでの調査では異物の混入が見られるため、このままではリサイクルセンターでの再選別が必要となってきます。
- ② 山間部に住む市民や高齢化への対応
コンテナ収集では、自治会ごとにより拠点を決めて実施するため、収集場所が遠くなる場所があり、山間部や高齢者の方々への対応が必要となってきます。
- ③ 収集場所の確保が困難
コンテナ収集では、一定の広さの場所を確保することが困難な自治会もあります。
- ④ 指導員、補助員の選任の問題
コンテナ収集は早朝実施のため、共働き世帯や高齢者の多いところでは指導員、補助員の人数が困難な自治会もあります。
- ⑤ 経費の問題
袋収集に比べ、コンテナ収集では総体の経費が高くなるため、収集経費をできるだけ抑えたいと考えています。
- ⑥ コンテナ収集の知識と経験を生かせる
伊集院地域がこれまで実施してきたコンテナ収集での分別知識等は、袋収集でも生かされることとなります。

袋収集、コンテナ収集のいずれの方式でも、徹底した分別を目的としていることには変わりありません。

「ごみは生活に密着した身近な問題であり、一人ひとりがごみへの認識をさらに深め、暮らしやすい日置市にしていけるために、市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。」

4月からの資源ごみの分け方、出し方

品目ごとにそれぞれ分別して指定袋に入れ、決められた日の午前八時までに（燃やせるごみも同じ）、燃やせるごみステーションに出してください。ごみカレンダーと分別手引書については、三月中旬に全世帯に配布します。

ペットボトル	ビン	缶	容器包装プラスチック (その他プラ)
有害ごみ	燃やせないごみ	紙類	
		新聞・チラシ 本・雑誌 紙バック ※それぞれ紙ひもで十字に縛って出す。	
乾電池 ボタン型電池 ・回収ボックスのある地域は、そこへも出せます。		ダンボール その他紙	

※市民の皆さまがごみに対する責任を持っていただくため、資源ごみ袋には、必ず名前を書いて出してください。

消防精神新たに 住民の信頼と期待に こたえたい

消防 出初式

一月六日、日吉運動公園と日吉総合体育館で消防出初式が行われ、市内の消防団員や市消防本部職員などが参加しました。式では、日吉方面団の田代幸次方面団長を先頭に各方面団や市消防本部、日新婦人防火クラブの皆さんの分列行進が行われ、その後、規律訓練や救助訓練、放水訓練などが行われました。

演習後、体育館では長年消防団活動に功績のあった団員の表彰などが行われ、宮路市長が「献身的な消防精神を堅持してほしい」と激励すると、西園徹消防団長が「住民の信頼と期待にこたえたい」と今年一年の決意を新たにしました。

消防活動の功績を表彰

各種表彰（敬称略）

略称（東） 東市来方面団
（伊） 伊集院方面団
（日） 日吉方面団
（吹） 吹上方面団

【消防庁長官永年勤続功労章】
門松吉彦（伊） 坂上俊美（伊） 北山光宏（東）

【日本消防協会功績章】
田代幸次（日）

【日本消防協会功績章】
鉦之原孝志（日置市消防本部）

【日本消防協会30年勤続章】
古川和史（東） 立和名徳文（東）

【県消防協会功績章】
川路勝弘（伊） 飯屋益夫（伊）

【県消防協会功績章】
並松安文（伊） 草原耕治（伊） 加治屋巳芳（伊） 稲田実（伊） 有村昭郎（伊） 古丸求（伊） 二石修三（日） 上野秀美（吹） 中間庭章（吹）

【県消防協会功績章】
西園満徳（吹） 山口辰己（吹）

【県消防協会功績章】
山下浩二（伊） 馬籠五雄（伊） 岩崎保浩（伊） 児島大志郎（伊） 吉永義昭（伊） 善福治己（伊） 西定美（伊） 上荒磯公一（伊） 牧之内幸一（伊） 古垣隆之（日） 檜物茂広（日） 畠中明雄（日）

【県消防協会功績章】
松下光一（吹） 野元耕二（吹） 岡



▲分列行進



▲表彰を受ける下田平幸雄さん（日吉方面団）

元正一（吹）

【県知事表彰50年勤続章】
下田平幸雄（日）

【県知事表彰40年勤続章】
曾木均（東） 西山益穂（伊） 小園和則（伊） 田代幸次（日）

【県知事表彰10年勤続章】
迫田弘利（東） 室之園道治（東）

益満秀利（東） 宇都良広（伊） 新山一弘（伊） 貴島明英（伊） 横山義晴（伊） 前村康博（伊） 宮原良和（伊） 東英夫（伊） 上口浩行（日） 大西勝成（日） 元山敏志（日） 阿多崇宏（日） 原口東（日） 橋口洋一（日） 東正秋（吹） 小山田剛（吹） 柳原文男（吹） 濱村義美（吹）

【県消防協会日置支部15年勤続章】
田淵裕（東） 中養母健一（東） 永井辰也（東） 益満哲二（伊） 帖佐孝生（伊） 山下勝博（伊） 東條幸二（伊） 原口昇（伊） 尾菅謙志（伊） 室屋健（伊） 井料敏彦（伊） 内村

友治（日） 堀吉男（日） 山内一徳（日） 的場勝広（日） 前畑進二（日） 川崎哲也（吹） 坂口博（吹） 井上真人（吹） 横山勉（吹） 柱野春己（吹） 黒川明（吹）

【市長表彰10年勤続章】
迫田弘利（東） 室之園道治（東）

益満秀利（東） 宇都良広（伊） 新山一弘（伊） 貴島明英（伊） 横山義晴（伊） 前村康博（伊） 宮原良和（伊） 東英夫（伊） 上口浩行（日） 大西勝成（日） 元山敏志（日） 阿多崇宏（日） 原口東（日） 橋口洋一（日） 東正秋（吹） 小山田剛（吹） 柳原文男（吹） 濱村義美（吹）

【感謝状30年勤続者内助の功】
古川慶子（東） 立和名ナル子（東） 川路幸子（伊）

【感謝状25年以上勤続退団者】
門松昭雄（日置市消防団） 北山幸二（東） 大栗明男（日） 畠中和文（吹） 堤宏治（吹） 馬籠富夫（吹）

住宅用火災警報器

「付けていて良かった」という例が増えています。



壁掛けタイプ



天井取付けタイプ

日本検定協会の保障するNSマークの付いたもので、1個5～6千円前後が相場のようなようです。

日置市では、新年早々、建物火災が相次ぎ、建物4棟が全焼し1棟が半焼しました。

火災は、ちょっとした心のスキを狙って発生します。

かけがえのない命と財産を火災から守るために、火の元、火の取り扱いには十分ご注意ください。

火災を初期のうちに知らせてくれる住宅用火災警報器を早めに設置されることをお勧めします。また、住宅用火災警報器を取り付けたことで火災の被害を最小限に抑えられた事例が数多くあります。

悪質訪問販売にご用心!!

住宅用火災警報器の設置が義務付けられたことに伴い、悪質な訪問販売が多く発生しております。

おかしいと感じたら、すぐに自分で決めずに家族や近所の方々に相談しましょう。

平成19年 災害発生件数



平成19年中、日置市内では下記のとおり災害がありました。

火災は、昨年に比べ13件も多く発生し、救急も昨年より123件多くなっています。

交通事故や機械事故に伴って発生する救助出動も昨年より6件多く、26件発生しています。

火災は、市民一人ひとりが防火意識を持って生活すれば未然に防げると思います。

救急は、緊急を要する場合、ためらうことなく要請してください。

しかし、中には緊急性のない安易な要請もあるようです。

本当に救急車が必要な人のために、救急車の適正な利用をお願いします。

平成19年 災害発生件数

	東市来	伊集院	日吉	吹上	管轄外	合計
火災 (死者)	11	15	12 (1)	10 (1)	0	48 (2)
救急	599	741	230	414	3	1987
救助	8	8	4	5	1	26

春の火災予防運動

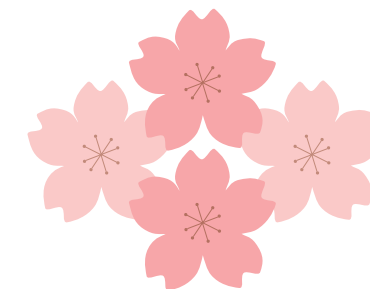
～火は見てる あなたが離れる その時を～

3月1日から3月7日まで、「火災から命と財産を守ろう」を合言葉に、春の火災予防運動が実施されます。この運動は、火災が発生しやすい時季に一人ひとりが火災予防の知識を持ち、それを実践することによって火災の発生を防ぐことと、火災による死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的に全国的に実施されます。日置市消防本部でも、下記のとおり火災予防運動を実施します。

消 防
ひ お き



車両広報



予防査察



防火訓練



予防査察



独居老人防火指導



平成19年防火ポスターコンクール作品

サイレン鳴動について

「事業所に設置されている自動火災報知設備が鳴っていますが、炎や煙等は確認できません」と119通報があった場合、以前はサイレンを鳴らさずに現場まで行っていました。今年からサイレンを鳴らして現場まで出動することになりました。

また、交通事故等に伴う燃料漏れによる火災危険を排除するための出動も同様です。

聞こえる消防車のサイレンに対するお問い合わせは、絶対に「119番」で行わないでください。

消防テレガイド (273-2811) を活用してください。皆様のご理解とご協力をお願いします。



東市来地域民生委員・児童委員協議会

氏名	担当区域	電話番号
島田ひろ子	桑木野・郷戸・尾木場	274-3376
園田 淑子	野下・高塚東・高塚西	274-6081
鮫島さだ子	銚之原・立和名	274-6823
荻 敬	荻	274-6297
北山 末吉	北山・上床	274-9055
田淵 和子	田代	274-6425
上養母ひさ子	梅木・中野・元養母	274-4412
中園 敬子	下養母	274-0120
宮内 裕子	麓上・古市	274-5113
水流 憲子	麓下	274-4307
種子田忠紀	杉之迫	274-4726
山崎 悦子	城之町上・城之町・坂之上下	274-4689
北園 京子	皆田東・大平	274-9502
宮前サチ子	皆田西・丸牧	274-3406
下池 一利	上野東・上野西	274-5724
野崎 楠雄	向湯田	274-4961
堂園 勇一	駅前	274-2962

氏名	担当区域	電話番号
池満 久代	駅前	274-2935
銚谷登知子	元湯	274-1262
高須美穂子	元湯	274-0509
赤崎てるみ	中央	274-2536
寺田そよみ	中央	274-5660
濱村 博子	田之湯	274-2001
武田あつ子	田之湯	274-2555
畑 伸一郎	堀内	274-4016
沼田八重子	上・元・中伊作田	274-3181
益満 律子	柿之迫	274-3775
中村 満郎	江口・鉦口	274-2476
村山 悦子	川北・平迫比良・赤崎	274-5677
上園 律子	永山・神之川・南神之川	274-5812
始良 誠	美山上・牧之角	274-0369
児玉 英作	美山下・宮田	274-4114
岩下 輝子	主任児童委員	274-4903
中村 伸子	主任児童委員	274-5388

伊集院地域民生委員・児童委員協議会

氏名	担当区域	電話番号
牧迫 範雄	池田・末永・窪田	272-2351
黒田 澄子	四郎園・下方限	273-5404
有馬 久子	麓東	272-4711
新藤 和雄	天神馬場・上之馬場・ 犬之馬場・元町	272-4531
鮫島 幸子	向江町・中央通	273-1035
家村かつ子	駅前・銀天通	273-1650
前田 純正	出樋・城山・荒瀬	273-1586
清藤 藤一	小城・瀬戸内	273-0059
四元 美紗	徳重東	272-3286
山下ヒサ子	猪鹿倉（朝日ヶ丘線より北側）	272-5438
種田 史子	猪鹿倉（朝日ヶ丘線より南側）	273-5340
田中くみ子	清藤	273-3782
内 健一	郡上・郡内・宮脇	273-4693
栄楽百美子	中福良	273-0765
神橋 守	立野	272-5422
倉崎 浩二	平古	273-1649
森山あや子	郡下	273-5633
松元 昇	大田上・大田中	273-0022
平島トモエ	大田下・久木野々	272-3822
福元 寛	飯牟礼下・腰・善福	272-5396
徳永 昇	飯牟礼上・飯牟礼中	273-1156
新田 孝子	古城・恋之原	273-2835
上平田明利	下土橋	273-2476

氏名	担当区域	電話番号
松尾 幸男	上土橋	273-9557
上 菊男	中川	273-9228
仮屋 享	竹之山	273-9531
本村 一男	麦生田下・麦生田中	273-2494
前鶴 祥子	麦生田西・麦生田東	273-9956
入江田キミ子	上神殿・中神殿	273-2356
吉村 京子	下神殿1区・下神殿2区・ 下神殿3区・下神殿4区	273-1515
千代盛洋子	桑畑	273-3448
里之園 毅	野田	273-1728
佐藤 順子	寺脇	273-5564
田淵川庄次郎	朝日ヶ丘	272-3019
山口 育美	妙円寺1区	273-0231
寺園 幸廣	妙円寺2区	272-3921
児島 昌美	妙円寺3区	273-0026
入佐 俊五	妙円寺5区	272-3500
松元 健二	妙円寺6区	273-0417
南田 薩男	妙円寺7区	272-3316
谷本 克利	妙円寺8区・妙円寺9区	273-3373
上園 義彦	つつじヶ丘1区	273-0280
蛭川 保子	つつじヶ丘2・3区	272-2303
益満 和子	主任児童委員	272-5715
東 ひとみ	主任児童委員	273-1272

民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介します

平成19年12月1日付けで委嘱を受けた新しい民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介します。

民生委員は、高齢者や障害を持った方など社会的に弱い立場にある方の訪問等を通して、その生活実態を把握し、様々な福祉問題について相談に応じたり、関係する行政機関や福祉施設と連携しながら指導・援助を行っています。福祉に関する疑問や悩みなどをお持ちの方は、お住まいの地域を担当する委員までお気軽にご相談ください。

日吉地域民生委員・児童委員協議会

氏名	担当区域	電話番号
種子田フサ子	二湯	292-5001
室屋 榮藏	山田上・山田・山田下	292-3081
有村 和子	日新・並松・北原・今別府	292-5662
中城 勝美	下原・古の山・浜の丸	292-2985
増田友可子	出来場・西	292-3637
下田平和子	城の下・寺下・中原・榎園・ 榎園団地・ウッドタウン日吉	292-3196
福田 俊治	栞木・植木・日置麓・日置団地	292-3161
田島マツエ	帆北・帆西・帆南・帆東	292-2292
瀧口ルミ子	柿の谷・狩谷・旭東・旭西	246-8841
勝田 久子	松ヶ尾・久保園・宮下・八幡・ 新橋	292-3888
久保 幸子	上の馬場・古里・古里東・ 中牟礼・中牟礼西	292-4218

氏名	担当区域	電話番号
春成トモエ	堀込・諏訪・鶴狩	292-3664
田中 馨	笠ヶ野・草見	292-3050
上口 旬子	草原東・毘沙門・遠矢ヶ原	292-4590
榎場 碩郎	草原西・川口・住吉	292-2433
二石謙二郎	天司・吉野・鬼丸	246-8388
畠中 孝典	原口・西山・白井月	292-2064
川窪 久子	吉利麓・新町・向江	292-4159
池田 律子	尾之上・志賀・内門・熊須	292-3739
新富 妙子	片町・池上・道上・小園	292-4134
松村 耕一	前屋敷・冷水・松山	292-4701
吉留 義信	田平・小吹・岩井田・諸正・ 樗木	292-2319
鎌ヶ迫 勉	主任児童委員	292-2136
新宅 礼子	主任児童委員	292-3722

吹上地域民生委員・児童委員協議会

氏名	担当区域	電話番号
徳田まき子	西本町・南宮内	296-4169
東 克夫	東本町・窪田	296-2344
大北貴美子	坂元・多宝寺・ふもと	296-4698
窪田 繁	小牧	296-2970
下村 俊治	北湯之元	296-5177
田原 嘉治	南湯之元	296-4067
川辺 昭宏	緑ヶ丘・宮坂・上中之里	296-4492
山下 正成	下中之里	296-5072
野入 弘良	中津・東宮内・西宮内	296-4526
漆島喜代子	亀原・花熟里	296-2436
岩元 正子	小野浜・小野馬場・小野	296-6578
若松マサ子	下田尻・中田尻	296-2881
戸越 禮子	上田尻・芋野・野首	296-5552
山口 克佳	下与倉	296-3671
松原 悟	藤元	296-2349
黒葛 秋男	赤仁田・上与倉	296-6054
永野 玲子	田之尻・永野	296-4177
田中 保子	今木場・日添	296-6099

氏名	担当区域	電話番号
井上ミツ子	竜之瀬・観音河内・平鹿倉	296-5077
坂口 正視	笠口・瀬谷・助代	296-2197
上床 和子	上和田・中和田	296-4677
榎木 洋子	下和田・笠岡	245-1201
川路 順子	入来・西原	296-4768
松崎 征男	入来浜・今田	296-2161
草木迫ふさ子	小永吉・上草田・中草田	297-2260
瀬川千枝子	原園・下草田	299-3776
重信 壽子	浜田中・浜田後・天昌寺	297-2147
恒吉 英治	川久保・永吉中和田	297-2514
鍋倉 怜子	新川原	299-3374
岩井田玲子	榎下・永吉ふもと	297-2116
胸元 光盛	梅里下・梅里・七呂・印口・ 鍋谷・松下	299-3431
坊野ヒロ子	坊野上・坊野下・高田	299-3244
有馬タミ子	田代野・柱野・山手	299-3143
平田 昭二	主任児童委員	296-2638
堂園かずよ	主任児童委員	296-2587

40歳～74歳
日置市
国保の方へ
4月から

新しい健診制度 (特定健診・特定保健指導) が始まります!

特定健診は、内臓脂肪型肥満に着目した『メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）』の概念を取り入れ、運動・栄養・喫煙などの生活習慣の乱れから起こる糖尿病等の『生活習慣病』の改善・予防に若い世代から取り組むことを目的に、平成20年4月から実施されます。

特定保健指導は、特定健診で抽出した対象者に対して、内臓脂肪型肥満を改善するための専門的な保健指導を行うことにより、対象者が自らの生活習慣・健康管理における問題点を認識し、行動に変化を促し、健康的な生活を送れるよう『生活習慣病の改善・予防』を目的とするものです。

◎医療保険者が、健診・保健指導の実施主体になります!

- 新しい健診制度では、市町村の国民健康保険や健康保険組合、共済組合といった『※医療保険者』に対して、健診・保健指導の実施と健診データの管理が義務化されました。
- これにより、日置市の国民健康保険の加入者と生活保護の方は『日置市』が、事業所等の社会保険加入者は、その医療保険者が責任を持って健診・保健指導を行うこととなります。
- ※医療保険者とは・・・市町村国民健康保険、健康保険組合、共済組合、政府管掌保険組合などを指します。
(保険証に記載されている医療保険者をご確認ください。)



医療保険者のことです!

◎従来の基本健診から ⇒ 特定健診・お達者健診へ変わります!

- 新しい健診制度では、対象者が40歳～74歳の方に変わります。
日置市では、若い世代からの予防のため、30歳、35歳の節目健診も同時に実施します。
- 30、35歳、40歳～64歳の方は『特定健診（生活習慣病予防健診）』として実施します。
65歳～74歳の方は、特定健診と合わせて『お達者健診（介護予防健診・生活機能評価）』も同時に実施します。
- 内科疾患（高血圧、脂質異常、糖尿病、心臓病、脳梗塞など）により、医療機関で通院・治療中の方は健診の対象者にはなりません。

◎健診・保健指導のポイント! ⇒ 生活習慣の改善支援が受けられます!

- 健診の結果に応じて3段階に分けて、生活習慣改善の支援を行います。

※お腹周り、血圧・血糖値・血中脂質がちょっと高めの方は、
メタボリックシンドローム（内臓脂肪型症候群）予備軍!
元気で若いうちから、生活習慣の予防・改善に取り組みましょう!



【詳細についてのお問い合わせ先（担当窓口）】

本 庁 健康保険課 国保老人保健係(内線 1132) 東市来支所 保健福祉課 国保老人保健係(内線 2133)
日吉支所 保健福祉課 国保老人保健係(内線 3133) 吹上支所 保健福祉課 国保老人保健係(内線 4133)

永吉郵便局で証明書等が受け取れます ～永吉出張所廃止へ～



現在の吹上町永吉地区体育館内にある永吉出張所は、平成二十年三月末日をもって約百二十年の歴史に幕が下ろされることになりました。

合併前の永吉村時代にはその行政の中心である永吉村役場として、また吹上町時代および日置市合併後は、それぞれ永吉支所、永吉出張所として、主に永吉・坊野地区住民の方々を対象にその役目を果たしてまいりましたが、日置市合併の際の協定項目に、「(前略)なお、吹上町

の永吉支所は出張所とし、合併後三年以内に廃止します」と確認されていたことにより廃止されるものであります。

行政の効率性追及など行政改革に取り組んでいる現在、その方向性とも合致していることから、昨年の十一月永吉・坊野両地区の住民の方々を対象にそれぞれ説明会を行い、去る十二月議会では出張所廃止条例が可決されました。

出張所廃止に際し、これまで出張所で取り扱ってまいりました

た事務は、ほとんどが吹上支所で取り扱うこととなりますが、住民票、印鑑登録証明書や納税証明書などは、昨年度整備した光ケール施設を利用して、永吉郵便局窓口で交付を受けられるよう現在準備中であり、(坊野地区公民館ではすでにサービスを実施しています)

永吉出張所の変遷

年月日	出来事	備考
明治22年	市制・市町村制 ～ 永吉村誕生	永吉村役場
昭和30年4月1日	伊作町・永吉村合併 ～ 吹上町誕生	永吉支所
昭和56年4月1日	永吉支所移転 (～現在地)	
平成17年5月1日	東市来町・伊集院町・日吉町・吹上町合併～ 日置市誕生	永吉出張所
平成20年3月31日	永吉出張所廃止	



地頭所 忠雄さん(吹上町下和田)

高年齢叙勲 「旭日単光章」を受章

高年齢叙勲は、国家または公共のために功労のあった方のうち、八十八歳になられた方に授与されるものです。

地頭所忠雄さんは、昭和四十六年に吹上町議会議員に初当選以来、平成三年まで連続五期二十年にわたり在職。同議会副議長などを歴任し、町勢の発展と住民の福祉向上、町議会の健全な発展と円滑な運営に尽力された功績が認められ、旭日単光章を受章され、一月二十二日には、市役所で伝達式が行われました。

ご功労・ご功績に対し、心から敬意を表し、晴れの受章をお喜びいたします。

平成20年度「広報ひおき」年間購読者の募集について

市では、市民の皆さんへの行政情報や市内各地域でのイベント・行事などのお知らせとして、「広報ひおき」(毎月一回)と「広報ひおきおき」(毎月一回)を発行し、自治会を通じて各世帯へ配布しています。

また、市外在住の郷土出身者などで、「広報ひおき」年間購読(毎月一回発送)をご希望の方には、有料による発送も行っています。

【年間購読料】二千元

平成二十年度分は、平成二十年四月号から平成二十一年三月号までです。

郵送でのお申し込みの場合は、現金書留か郵便小為替を添えてお申し込みください。

市では、市民の皆さんへの行政情報や市内各地域でのイベント・行事などのお知らせとして、「広報ひおき」(毎月一回)と「広報ひおきおき」(毎月一回)を発行し、自治会を通じて各世帯へ配布しています。

また、市外在住の郷土出身者などで、「広報ひおき」年間購読(毎月一回発送)をご希望の方には、有料による発送も行っています。



▲消火器を使った消火訓練



▲ジョギング大会



▲守り隊出初式

新春恒例行事 団地のまともり強く

妙円寺団地防火訓練・守り隊出初式・ジョギング大会

一月二十七日、妙円寺中央公園（伊集院）で妙円寺団地防火訓練が行われました。

防火訓練は、住宅が密集している妙円寺団地で日ごろからの防火意識を高め、初期消火の知識と技術を習得し、万一の災害発生に備えようと毎年行っているもの。

訓練では、市消防本部職員が防火に関する講話を行い、消火器の取り扱いについて説明。その後、参加者は実際に消火器を使用して消火訓練を行いました。防火訓練に引き続き「守り隊」

出初式が行われました。「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」と平成十六年に発足し、団地内の防犯、安全確保を支えている「守り隊」。出初式では、「守り隊」の黄色い帽子を着用した隊員が、防犯意識の高揚を図り「エイエイオー」と掛け声をかけ、今年一年の決意を新たにしました。

一年の災厄をはらう鬼火たきが、今年も各所で行われました。昭和六十三年に復活して以来、上田尻自治会（吹上）では一月七日、船木神社近くの農道であ

寒風に燃え盛る鬼火

上田尻鬼火たき

「日置市も三周年を迎え、一層の飛躍を」と願いを込めた「やぐらは、これまでで最大級の高さおよそ十八メートル。前日から二十



▲竹ノポッポで焼酎を楽しむ参加者

人ほどで準備しました。夕暮れが近づくと、自治会員らが集まります。太い孟宗竹組みのやぐらは、家々の正月飾りで彩られました。

寺園不可止さんら、集落の年男、年女四人が松明から点火。無風だった田んぼに風が吹き始め、一気に赤い炎が燃え盛り、「バーン」と竹のはじける音が山々にこだましました。

参加者は炎に照らされながら「アワンナットウ」や「竹ノポッポ焼酎」片手に一年の無病息災を祈り、持ち寄った餅に舌鼓を打っていました。

今年もみんなで元気に

平迫比良自治会鬼火たき

一月五日、東市来地域平迫比良自治会内の田んぼで、無病息災を祈願しての鬼火たきがありました。

自治会行事として昭和五十六年に復活し、今年で二十八日目になります。朝八時半より子どもからお年寄りまでが一丸となって準備した結果、立派なものが完成しました。火付けは午後六時からで、今

年の火付け役（七草）の勝目加奈子ちゃんと山下純奈ちゃんが火を付けると勢いよく炎が広がり、自治会の参加者百人から歓声が上がりました。火にあたって間、お菓子や焼酎等が振る舞われ、それぞれ持ちよったもちをあぶりながら、こころも体も温まり、無病息災祈願は遅くまで続きました。

民間の知恵と活力をB&Gへ！

日置市B&G東市来海洋センター指定管理者指定通知書交付式

平成二十年四月から日置市B&G東市来海洋センターの指定管理者に決定した(株)日本水泳振



興会への指定通知書交付式が一月二十五日、市役所で行われました。式では、宮路市長が「民間のノウハウを最大限発揮していただき、市民が利用しやすい施設づくりや事業に期待したい」とあいさつし、(株)日本水泳振興会の坂元副社長は「期待に応えられるように、市と連携を取りながら精一杯努力していきたい」と力強く述べられました。

地域の活動が認められ表彰

川護 河愛



一月二十二日、河川愛護に功績のあった団体として日添自治会（吹上）と池田自治会（伊集院）が河川愛護県知事表彰を受けました。両自治会では、地域内の河川の草払いや雑木除去等の愛護作業を実施するなど、自主的な活動に取り組んでいます。

青松太鼓 新春初打ち



みぞれ吹き飛び 初打ち鼓動

「新年の幕開けを威勢のいい太鼓の鼓動で」。吹上の元旦恒例行事となった吹上青松太鼓の新春初打ちが一月一日、吹上町永吉の久多島神社境内で開かれました。

元旦はこの冬一番の寒気が流れ込み、夜半から強風とみぞれ混じりの荒天。それでも、あいにくの天候に関わらず、五十人を超える参拝者が、初詣を兼ねて境内に駆けつけました。心配げに見守る中、演奏開始。かじかむ冷たさをももともせず、懸命にバチを振る打ち手の熱気で、いつしかみぞれも止みまし

テント二式を市に寄贈

東市来町法人会

一月二十一日、東市来支所で、東市来町法人会（西ノ園純男会長）から日置市教育委員会へ、イベントテント二式の寄附採納



▲目録を贈呈する西ノ園会長（写真右）

式が行われました。昨年十二月十二日に行われた、社団法人串木野日置法人会「チャリティー親睦ゴルフ大会」により集まった募金で、イベント用のテントを作成。東市来地域内の学校でぜひ活用してほしいとのこと。当日は、西ノ園会長からの贈呈に対し、田代教育長、住吉東市来支所長から「ありがとうございます。学校での教育活動に有効に使わせていただきます」とお礼のあいさつがありました。

4中学校にテントを寄贈

日置中央ライオンズクラブ

日置中央ライオンズクラブより結成十周年を記念して日置市内の四中学校にテントの寄贈がありました。

伊集院中学校、伊集院北中学校、土橋中学校、日吉中学校に贈られたテントは、早速学校行事等で使われ、学校としては大変ありがたい贈り物になり、今後の教育活動に大切に活用されることと思います。



韓国に家族ができました

ホームステイ受入

一月十日から十七日までの八日間、韓国のユン・ウジョンさんが安廣さん（吹上）宅にホームステイしました。



▲ステイ先で受入家族と談笑するユンさん(写真中央)

これは韓国と福岡にある国際交流事業を実施している二団体が企画したもので、韓国から四十二人が九州各地に家族の一員としてホームステイし、生活文化や日本語を理解、習得することが目的で行われたもの。

観光やショッピングではない日常を体験したユンさんは「優しい家族と過ごせて良かった。また戻って来ます」と、受入家庭の安廣久美子さんは「来てすぐに娘とも打ち解けて、近所の子が家にいたような感じでした」とホームステイを振り返りました。

お誕生日

おめでとう

デイサービスセンター

十二月十四日、日吉デイサービスセンターで利用者のお誕生日会が行われ、日置小学校附属幼稚園の園児がお遊戯や劇を披露しました。

幼稚園児の元気な姿に利用者の笑顔が絶えませんでした。



薩摩の心を学びつつ

「日新公いろは歌」カルタ取り大会

日新公顕彰会（池上耕成会長）が主催して、「日新公いろは歌」カルタ取り大会が十二月十二日、国民宿舎吹上砂丘荘でありました。

大会は、伊作城で生まれ育った島津中興の祖、島津忠良公（のちに日新公）が残した「日新公いろは歌」に触れ、学ぼうと行われたもので、吹上地域内の小学生四十六人が参加しました。今年で三回目を迎えた大会に臨む児童の手さばきも年々向上



詠み人の語を聞きもらすまいと緊迫した空気を突き破るように、最初の一字で、札に手が飛んでいきました。
低学年、中学年、高学年の部に分けて優勝が競われ、白熱した戦いが展開されました。各部の優勝者は次のとおりです（敬称略）。
■低学年の部：田口永美夏（和田小二年）
■中学年の部：下園敏晃（和田小四年）
■高学年の部：坊野春佳（永吉小六年）

親として学びあいました

吹上地域PTA活動研究発表会

「心豊かでたくましく生きていく子どもを育てるPTA活動はどうあればよいか」を研究主題に、平成十九年度吹上地域PTA活動研究発表会が一月二十六日、吹上中央公民館で行われました。

発表会は、吹上地域PTA連絡会が主催し、加盟する四つの小学校と吹上中、吹上高PTAから、およそ二百人の会員が参加。家庭の教育力やノーテレビ

デイ、食育など、各校PTAが学校や地域連携して取り組んだ研究事例の発表や協議が行われました。
また「今、子どもに親としてできること」と題して、親業訓練シニアインストラクターの有馬まゆ美さんが講演。「聞くこと、話すこと、対立を解くことが親子の対話の鍵。子どもを一人の個人として尊重してください」と示唆を与えました。



家庭で味わえる本格キムチ

第四回世界味の旅&キムチ作り講座

伊作田地区活性化センター（東市来）で、一月十九日と二十日の二日間、「第四回世界味の旅と講座」でキムチ作りが行われ、それぞれ十四人と十六人が参加しました。

日本の食卓でもすっかりおなじみになったキムチ。講師の国際交流員金信愛さんは「キムチは辛いだけではなく、ビタミン、ミネラル、乳酸菌も豊富な健康食品です。日本のものと味が違うのは自然発酵させて作る

あま〜いイチゴはいかがが？

いちご観光農園オープン

一月五日、片平農園でいちご観光農園がオープンしました。

イチゴの日にちなみ、毎年この日に行われ、宮路高光市長やふるさと学園の生徒らによって、イチゴの形をしたクスマスを割り、開園を祝いました。

片平さんは「今年で、開園十周年目になり、毎年多くの人に来ていただいています。今年も、病害虫の発生で、イチゴ農家にとって大変な年となりました。今後も安全で美味しいイチゴづくりに取り組み、多くの人に喜んでいただきたい」とあいさつ。

大きなイチゴで乾杯した後、甘い香りに包まれたハウス内で真っ赤に色づいたイチゴを思い思いに摘み取っていました。ふるさと学園の生徒は、赤く大きく熟れたイチゴをパッケいっぱいに摘み取り、家族へのお土産として持って帰りました。



片平農園 二七四一六一八三
開園時期 五月末まで
開園時間 午前十時〜午後五時



▲永山在兼氏の墓参り



▲平松農園でボンカン狩り



▲東市来中での合同授業

マイナス20度！冬の北海道から中学生らが来市

でしかが 弟子屈町中学生交流派遣団

一月八日から十一月十一日までの四日間、北海道弟子屈町中学生交流派遣団十五人（三日市守団長、弟子屈中七人、川湯中四人、引率三人）の一行が日置市を訪れ、ホームステイ等を行いました。

これは、旧東市来町出身の土木技師永山在兼氏の阿寒横断道路建設における功績により昭和五十八年、旧東市来町と弟子屈町が姉妹町盟約を締結したこと

二年から隔年ごとに行われ、今年まで続いています。平成二十年度は八月に日置市から弟子屈町に訪問する予定です。

派遣団の皆さんは、東市来中学校と上市来中学校での交流授業や合同給食での意見交換をはじめ、農園でのボンカン狩りや薩摩焼体験等を行いました。マイナス20度の暖冬日置市へきた皆さんは、「暑い、暑い」を連呼していました。



みんなで一緒に「べったんこ」 心繫がる二世交代

妙円寺保育園もちつき大会

十二月六日、妙円寺保育園(伊集院)で、園児と父母、祖父母が参加する三世交代交流もちつき大会が開催されました。
当日、園児らは蒸したもち米を杵と臼でつき、つきあがったもちを丸める全工程を体験。もちつきを初めて体験する園児も多く、おじいちゃん・おばあちゃんに手取り足取り教わりながら「よいしょ、よいしょ」と楽しそうにもちをつき、丸めていきました。

お父さんと一緒にもちをついた木戸翔太くんは「楽しかった。温かいもちを丸めるのは初めて」とうれしそうに話していました。最後はみんなで会食。できあがった白もち、あんこもち、芋もちをおいしそうにほおぼる園児らを見て、保護者もうれしそうな表情を浮かべていました。



子ども館前でドライバークラスに「交通安全折扇もち」を配布する児童



地域が学びの場 5年生9人がもちつき体験

土橋小学校「ふれあいもちつき活動」

土橋小学校(伊集院)の五年生九人が「ふれあいもちつき活動」授業の一環で校区内の高齢者とともにもち米の田植えから稲刈り、脱穀、精米などを通して地域密着型の学習を行い、十二月十三日、同校で収穫したもち米を使ったもちつき大会が行われました。

この取り組みは、五年生主体の授業として昨年から始まったもの。昨年から田んぼを無償で貸し出してくださっている烏帽子さんには感謝状が贈呈されました。

翌日、五年生はチェスト館前で前日ついたもちを「交通安全祈願もち」としてドライバークラスへもちを配布しました。

地域に根ざした土橋小の教育とそれを支援する地域。活動を続けてきた五年生は、収穫の喜びや地域の支援を肌で感じ、また一つ大きく成長しているようでした。

当日は全校生徒五十五人と土橋幼稚園児十九人、保護者や校区内の高齢者が参加し、蒸した米を杵と臼でつき、つきあがったもちを丸めていきました。最後は五年生、保護者、高齢者がそろって会食。つきたてのもちが入ったぜんざいをおいしそうに食べました。



▲小幡を指導する彦いさん

故郷の先輩、落語でエール

吹上中創立三十周年記念事業

昭和五十三年四月に旧吹上町内四つの中学校を統合して開校した吹上中学校。その創立三十周年記念事業のひとつとして一月二十二日、落語林家彦いさんの記念講演が開かれました。

力であつける大切さを説きました。

講演には同中生徒や保護者、卒業生など四百五十人が聴き入りました。

第二部では生徒代表五人に小幡を即席指導。生徒はめったに上がれない高座で「隣の家に囲いができたってね」「かつこい」と熱演。「すでに師匠格」とお墨付きをもらう生徒も。

吹上出身の彦いさん。「加世田高校まで自転車を通った『逆不良』だった」と回想しながら、「やってみようという好奇心で生きてきた」と自分を全

落語では珍妙な親子の縁日を描いた「初天神」を披露。真打の落語にホールは爆笑の渦。時間が押すのも忘れて「反対陣」も演じ、落語で故郷にエールを送りました。

特産品で韓国プロ球団を歓迎

韓国ロッテジャイアンツ歓迎会

一月二十八日から二月二十九日まで日置市でキャンプを張り、湯之元球場(東市来)や伊集院球場で調整する韓国プロ野球ロッテジャイアンツの歓迎会が一月二十八日、こけけドーム(東市来)で行われました。

これは応えて同球団ジェリー・ロイスター監督は「地域の特産品や温泉で力をつけ、市民の歓迎と期待に沿うような結果を出したい」とあいさつしました。

釜山に本拠地を置き、日本プロ野球千葉ロッテマリーンズと兄弟球団である同球団。歓迎会では花束が贈呈され、宮路市長が「暖かい気候の中、精一杯練習に励んでいただき、また練習

後は当地自慢の温泉でゆつくりと疲れを癒してください」と激励。その後、市長、東市来観光協会長が地域特産品のポンカンとイチゴを贈呈しました。

吹上浜公園に球春を呼ぶ四地区交流新春ソフトボール大会(同実行委員会主催)が一月十四日、同公園野球場などでありました。大会は、旧吹上町と旧加世田市との交流戦がきっかけとなり開かれるようになったもの。今年日は日置をはじめ、鹿兒島、川辺、指宿、川薩の五地区から三十二チームが出場しました。

吹上地域からは永吉と伊作が出場、強豪チームと互角に熱戦を繰り広げ、伊作スポ少が三位に入賞しました。



スポ少ソフトボール大会

目まぐるしい攻防を展開

Fカップフットサル大会



「第十一回Fカップフットサル大会」が一月二十日、吹上浜公園体育館で開催されました。大会には県内各地から二十四チームが出場、巧みな足技で目まぐるしい攻防を展開しました。

フットサルは、南米や欧州で古くから行われており、日本でもサッカー人口の増大とともに競技人口が増え、鹿兒島県にもフットサル連盟が設立されています。専用のボールは、バウンドしにくい構造で、それだけボールを扱う技術が必要。十分ハーフとはいえず、少しの油断で攻守が反転、ゴールを揺らされてしまいます。



女性の熱き戦い

第二十二回鹿兒島地区対抗女子駅伝競走大会

日置チームは第三位

一月二十七日、早春の霧島市(国分・単人)で第二十二回鹿兒島地区対抗女子駅伝競走大会が行われました。

また、日置チームのタイムは前大会より19秒短縮し、1時間12分54秒。この結果は日置チームにとって今まで一番の好タイムとなりました。

六区間のコースをタスキでつなぐこの大会には、県内十二地区が出場し、女性の熱き戦いが繰り広げられました。日置チームは、一区柴田がトップと二秒差の区間二位でタスキをつなぎ、三区までは流れに乗って好走。その後、四位まで順位を下げましたが、六区茶園が区間トップの走りを見せ第三位でゴール。

出走選手(敬称略)
一区 柴田 彩香 区間二位
二区 岡元 祐子 区間三位
三区 松下真莉亜 区間七位
四区 後潟華奈子 区間九位
五区 今村 佑美 区間四位
六区 茶園美紗子 区間一位

伊集院地域

(出生児) 久木山終斗、丸山哲新、前田結衣、橋面将人、矢野悠太、古園健心、松野晴希、内田裕人、安部暖乃花、早瀬翔、面浦理緒、高森陽多、下堂咲菜、小淵陽貴、吉村妃世、田邊柚樹、有村来未、井之上愛、小川聖太

(保護者) 知和、中川

(自治会) 1月受付分(敬称略) 功也、朝日ヶ丘、明孝、徳重東、秀幸、荒瀬、正彦、郡下、弘人、徳重東、正二郎、妙円寺三区、直人、郡下、裕啓、下神殿一区、恭秀、妙円寺九区、道正、瀬戸内、貴之、徳重東、幸治、瀬戸内、幸久、竹之山、洋和、下方限、陽一、妙円寺七区、健吾、小城、桂介、朝日ヶ丘、展史、上神殿



おめでとう

12月受付分(敬称略)

伊集院地域

(故人) 有留勝代、西原ユキエ、児島弘子、並松サチエ、弓場忠義、今村照二、榎木大輔、福田ミギユ

(享年) 飯牟礼中、大田中、駅前、飯牟礼上、竹之山、妙円寺二区、妙円寺九区、中神殿

吹上地域

(出生児) 原田海敏、黒葛結、今原晃成、小山田彩海、島井口蒼空、小永吉真輝、森川陽成

(保護者) 緑ヶ丘、中津、入来浜、上和田、緑ヶ丘、下田尻、原園

(自治会) 敏信、秀輝、剛、誠、正明、浩文、賢二

東市来地域

(故人) 鹿丸篤哉、松元郁子、田丸喜男、横枕一、上床スミエ、太田昭三、横手サチ子、宮前隆之、田代孝俊、畠中三郎、谷口慶造、重水隆二

(享年) 飯牟礼中、大田中、駅前、飯牟礼上、竹之山、妙円寺二区、妙円寺九区、中神殿

日吉地域

(出生児) 戸島晃太、山路久人、野平菜子、中間将二、兒玉大典、楠元樹音、楠元樹音

(保護者) 宗樹、田之湯、健一、田之湯、良路、城之町、光輝、麓下、弘久、田之湯、浩史、古市

(自治会) 宗樹、田之湯、健一、田之湯、良路、城之町、光輝、麓下、弘久、田之湯、浩史、古市

吹上地域

(故人) 宮内ヨシ、田中ナカ、有馬幸子、相良カズエ、児玉ヒモ、平峯政行、東條君子、小山エミ子、山口悟、月野フヂエ、寺原ミツエ、堂園キイ、久保キミ、竹之内テル、常法初男、秋葉秋雄、脇キクエ

(享年) 小牧、永吉ふもと、ふもと、亀原、日添、草原、八幡、草原、日置麓、八幡、日新、熊野、毘沙門、草原、八幡、草原

日吉地域

(故人) 吉留壽一、山口田鶴子、平野静夫、田畑光男、面原フミエ、松原信雄、川窪直吉、南良子、杉木タミ

(享年) 日置麓、八幡、日新、熊野、毘沙門、草原、八幡、草原

健康情報 ひおき

シリーズ23

心もからだも健康になればみんな幸せ

「日置市介護予防・健康づくり大会」が開催されました!!

～若いころから地域で取り組む元気な市民づくり運動～

1月12日、吹上中央公民館にて平成19年度日置市介護予防・健康づくり大会が開催され、約450人の市民の参加とともに盛大に行われました。はじめに、元気な市民づくり運動推進計画書の策定報告や介護保険の現状について市職員から説明が行われた後、各地域での健康づくり活動発表が行われました。各分野でいきいきと楽しく活動される様子が印象的で、発表者の方々の笑顔がとても素敵でした。

介護予防・健康づくり活動発表

- (伊集院地域) 「今できること。動ける身体を目指して」 チェスト伊集院 船倉祥子氏
- (東市来地域) 「いきいきサロン駅前あやめ会の活動について」 民生委員 池満久代氏
- (日吉地域) 「スポーツダンスで健康づくり介護予防」 保健推進員 小寫信子氏
- (吹上地域) 「野首地区で取り組む健康づくり活動について」 保健推進員 柳原由美子氏



▲各地域での健康づくり活動発表

また、運動普及推進員による健康体操や「地域でできる健康づくり～即実践!お手軽筋力アップ運動～」と題し、長野県身体科学研究所の岡田真平先生による講話と筋力アップ運動も行われ介護予防について楽しく学びました。同館ロビーでは、健康づくり運動に関わる食生活改善推進員、精神障害者のハートふれあい教室、いきいきサロンの活動等の展示コーナーや血管年齢判定・足指力計測器の体験コーナーも設けられ、参加者は熱心に会場を見学されていました。参加された皆さんは、健康づくりの大切さを改めて感じていたようでした。日置市ではこれからも市民の皆さんと健康づくり運動を推進していきたいと思えます。皆さんも「生涯現役で豊かな人生を過ごすために」できることから健康づくりを始めませんか?



▲岡田先生による講演



▲運動普及推進員による健康体操



▲展示コーナー



▲体験コーナー(血管年齢判定)



▲体験コーナー(足指力計測器)

伊集院保健所から

地域における自殺対策への協力

平成十年以降、日本の自殺者数は三万人を超えており、自殺対策が急務とされています。

その対策として、厚生労働科学研究費補助金「複合的自殺対策プログラム」の自衛企図予防効果に関する地域介入試験(NOCOMIT-J)を実施しています。(本市も協力自治体です) この事業では、ネットワーク活動、啓発活動、相談体制整備、このころの健康チェック、自死遺族支援など総合的に実施し、行政や医療、関連機関などさまざまな分野の方が協力しながら、地域全体でこのころの健康づくり等自殺対策に取り組んでいきます。

市民の皆さんの本事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

【地域責任者】
慶應義塾大学
保健管理センター教授
大野 裕

【お問い合わせ先】
伊集院保健所
二七三―三一一(内線二二)

ギャラリー 私の作品展

『和紙ちぎり絵』

永吉 洋子さん(63歳) [東市来町湯田]

「和紙ちぎり絵講座」講師の永吉さんは、生涯学習講座のほか自主講座でも指導しています。同講座の講師をしていた母のアシスタントをするようになったのがきっかけで始めたちぎり絵は、様々な種類・色の和紙の温かさ、柔らかさで表現するのが楽しいところであり難しいところ。 「和紙」の和は「和み」の和。これからは講座やグループの「和」を大切に、和紙ちぎり絵の楽しさを伝えていきたいですね。



ウォッチまちな文化財 33

びしゃもんてん **毘沙門天** (日吉地域)


日吉地域と伊集院地域の境界近くの毘沙門自治会に、「毘沙門天王」の文字が刻まれた石碑が建っています。この石碑は、伊集院の一字治城(いちじょうじょう)を守護するために作られたもので、後に移されたと伝えられています。ちなみに毘沙門天とは仏教を守る守護神で、甲冑をまとった武人の姿で表されることが多いようです。七福神の一人でもあります。

寿永・文治年間(1182～1189)の頃に、伊集院の郡司、紀時清(きのとききよ)は一字治城を築き勢力を強めていたと伝えられています。時清は、城の守り神として、本丸に毘沙門天、観音菩薩、春日明神、薬師如来を四方に安置したとされています。後に、島津氏の分家(新伊集院氏)が紀氏(古伊集院家)を追い払い一字治城の城主になりました。

戦国時代の末、天文5(1536)年に島津本家15代当主貴久はこの城を攻め落とし、本拠地としました。その際に、貴久は毘沙門天の石碑を日置の五丁田に移したとされています。時期は不明ですが、その後現在の毘沙門自治会の場所に移されたとのこと。

Access 日吉支所から車で10分

〔引用参考文献〕
「日吉町郷土史 上巻」



夢チャレンジ

超一流のサッカー選手に

伊作小学校六年 **坂口 蓮くん**

選手の目指します。ぼくは親や周りの人に支えてもらってサッカーをしています。必ずプロになって恩返しをしたいと思っています。

ぼくの夢はプロサッカー選手です。ぼくがプロになりたいと思ったのは、テレビで日本代表の中田選手のことを見て感動して、「ぼくもあんなふうになりたいな」と思ったのがきっかけでした。練習では楽しいことよりも、苦しいことがたくさんあります。特に、何本もの走り込みやドリブルの練習はとてもきついです。でも、そうやって苦しいことを乗り越えたら、すごいプレーヤーにはなれるかなと思うので、がんばって練習したいと思います。

ぼくが目標とする選手は、クリスティアーノ・ロナウド選手です。彼はいつも冷静で、周りを見ながら鋭いドリブルで多くの選手をぬぎ、シュートまでできていきます。いつか坂口蓮のような選手になりたいといわれるような選手になりたいです。



いきいき ひと

シリーズ33

消防団活動に貢献 消防機器の实用新案権を取得

東市来地域で徳永電機(株)を営む徳永匡是さん。昭和三十五年消防団に入団し、現在は東市来方面湯田分団の副分団長を務めています。徳永さんはこの度、「消防ホース巻取機(らくまき君)」を開発し、平成十八年九月、日本国特許庁の实用新案権に登録。その功績が認められ、二月十三日、消防庁長官表彰(褒功賞)を受賞しました。

若い頃から消防団活動に従事する中で消防ホースの収納に大変な労力を使っていると思っていた徳永さんは約二十年前、「消防ホース手巻機」を開発。当時、この手巻機がほかの団員にも好評でしたが、ホースが引きずられて消耗するので、別の巻き上げ方法はないかと思案。今までの経験と技術を生かして試行錯誤しながら、鉄製の「消防ホース巻取機」を試作完成させ、实用新案権に登録したものです。「この開発で団員の負担もホースの傷みも軽減されました」と笑う徳永さん。实用新案権登録後も鉄製で重い試作機をアルミ製にして軽量化、巻き上げた三本のホースを収納できるかを取り付けるなど改良を加えています。

このほか、様々な分野で製品の開発・改良を考えている徳永さん。「仕事の合間に試作品を作る日々。この巻取機は全て手づくりで時間もかかりましたが、自分の考えている通りに完成し、団員も喜んでくれています。現在は、湯田分団と一部地域で使用されていますが、これから市内外のたくさんの方にこの巻取機の効果を実感してもらいたいですね」



とくなが まさし **徳永 匡是さん**[72歳]

東市来町湯田(駅前自治会)

●徳永電機(株)
東市来方面湯田分団副分団長
「消防ホース巻取機」を日本国特許庁实用新案権に登録

わんぱく直送便

元気のあるお子さんの写真を募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況(お子さんへのコメント)⑤広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は未定)までお送りください。

有村 颯晟くん(1歳2か月)
父 俊彦さん 母 史美さん (吹上町中之里)

赤坂 美胡ちゃん(8か月)
父 仁志さん 母 亜古さん (吹上町中之里)

■おかあさんから
お父さんと一緒にお風呂に入るのが好きな颯晟くん。素直でたくましい子に育ってほしいです。

■おかあさんから
おしゃべりが大好きで、誰とでも話をする美胡ちゃん。たくさん食べて大きく成長してね。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口 52,433人(△57)
男 24,502人(△ 8)
女 27,931人(△49)
世帯数 22,371 (△17)
2月1日現在 ()は前月比

市の面積 253.06km²

今月の表紙



みんなで団地を守るために

住宅密集地妙円寺団地の新春恒例行事が行われました。市消防本部職員から消火器取り扱い等の説明を受けた住民は、自分たちの住む地域を守ろうと実際に消火器を使用して消火訓練を行いました。

(妙円寺団地防火訓練 P10 関連記事)

No.34 平成20年2月号

発行/日置市役所
総務企画部企画課

〒899-2592
日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063
東市来支所
TEL 099 (274) 2111
日吉支所
TEL 099 (292) 2111
吹上支所
TEL 099 (296) 2111

http://www.city.hioki.kagoshima.jp/

わが地域

北山自治会
(東市来地域)



東市来地域北部にある北山自治会。平成二十年二月一日現在六十二世帯、百四十三人が暮らしています。
ここには、北山殿と梅木殿が戦いをしたという伝説があります。お盆には敗北した北山殿の霊を慰めるために火振りの行事が伝わり、現在も行われています。この北山殿の支配していた所から、そのままこれが地名となったと伝えられています。



▲毎年お盆に行われる「北山の火振り」



▲左から福田健太郎さん、北山守さん、北山義寛会長

歴史と伝統を守り、受け継ぐために

北山自治会(東市来地域)

その昔、大里川向かいの平山(デラヤマ)に陣を構えていた北山殿と、城之岡に陣を構えていた梅木殿が戦い、敗れた北山殿の浄精霊と無縁仏を供養するために始まった北山の火振り。先端にツガ(松明)をつけた長さ五、六メートルの孟宗竹を南北(北山と梅木の方向)に大きく振り、供養するお盆の恒例行事として百年以上続けられています。夏の夜空を焦がす勇壮なこの行事。火振りが行われる納骨堂広場では、主に地域の青年や青壮年部員で準備。また、お盆に帰省する人も参加して伝統行事として地域全体で守り続けている行事となっています。

昔、あらぬ事実により斬られた北山殿の奥方の命日を弔うための七日講。奥方は斬られる際、「白い血を流したら私は無実です」と言い残し、白い血を流した。奥方を哀れんだ人々は、その場に白樺を植え吊りました。現在の七日講は白い花をつけるソバを食べることから別名「ソバ講」。三十三年目の節目となった今年、鹿王神社で盛大に神事が行われました。



▲鹿王神社で行われた七日講(ソバ講)

才講は昔、青少年が心身の鍛錬、修養の場として、礼儀作法、悪事追放、勤労の大切さを学ぶ講として続けられてきました。終戦後この風習は廃れ、現在では、主に豊作祈願の行事となっています。青年団がもちをつき、そのもちを「わらつと」に包んで地域にある二体の田の神さままで持っていき、田の神さまの周りを歌いながら踊った後、もちをお供えする行事として受け継がれています。このように北山には数多くの伝説や逸話があり、伝統行事は今でも地域住民一丸となつて取り組んでいます。伝統を守る気風は地域に根付き、住民にもまとまりがあります。地域の子どもたちもすすんであいさつをするなど、いい子ばかり。これから危惧されるのは、やはり現代の風潮でもある少子高齢化。地域の伝統行事を受け継ぐ若い世代が少なくなり、今後、この伝統を受け継いでいけるかが課題となっています。



▲田の神さまにもちを供える青年団(二才講)